事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	-	(H.24)No.	1215
-----------	---	-----------	------

事務事業名 乱歩狂言公演事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
教育委員会事務局	文化生涯学習室	杉本一徳	63-7892
新・継	事業期間	根拠法令等	
新規	平成 24年度 ~ 平成 24年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施策	1	市民文化
	小施策	1	文化芸術活動の振興
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	502502
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	ふるさと能文化振興事業
項	社会教育費	(小事業名)
目	文化振興費	乱歩狂言公演事業

3. 事務事業の概要

事業内容	
総合計画でもうたわれている、「能楽のふるさとづくり」の実践と、名張を全国発信するとともに、都市間交流を推進するため、「乱歩狂言」を開催し、地域素材である乱歩と能楽を発信します。財団法人 自治総合センターの助成を受け、<宝くじ助成事業>として実施します。都市間交流を推進するため、東京都豊島区並びに宮城県塩竈市でも同公演を開催します。 「乱歩狂言」開催地並びに開催日 名張市 9月1日(土) / 宮城県塩竈市 10月6日(土) / 東京都豊島区 12月16日(日)	

効果(事業目的)
総合計画にも明記される「能楽のふるさとづくり」のアイデンティティーを高めるとともに、都市間交流を積極的に推進し、名張のもつ地域素材を活かして、特色ある文化を育みながら、名張文化を積極的に発信してまいります。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
		[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画				旅費 554千円 需用費 472千円 委託料 771千円 使用料及び賃借料 266千円 報償費 1,441千円 負担金補助及び交付金 2,227千円	補助金・交付金	その他 ()	
	直接事業費			5,731千円	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
財源内訳 (千円)	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他(諸収入)			2,400			
一般財源	(0)	0	3,331	0	0	0	
人工数	職員			0.35人			
	臨時職員等			0.10人			
概算人件費	(0千円)	0千円	2,725千円	0千円	0千円	0千円	
+ 総事業費	(0千円)	0千円	8,456千円	0千円	0千円	0千円	

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	1年間に1回以上、文化・芸術を鑑賞したことのある市民の割合	-	-	-	-	53.0
	実績		49.6	54.2	51.5	50.7	
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
平成22年度に市制55周年記念事業として、「池袋わが町」が上演されました。	市内の能楽や乱歩事業に関与し、活動している各団体へ協力を要請します。今回の「創作乱歩狂言」開催により、能楽への関心を高めると共に、名張子ども狂言の会<茂山狂言>の協力を得て、より一層能楽振興に力を入れたい。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
脚本の書き直し、ワークショップの開催、名張子ども狂言の会の出演などを組み込むことにより、話題を提供し、入場者を確保しなければ、狂言のみの公演では、集客を見込めないのので、新しい企画を考慮する必要がある。	名張を全国発信する素材として「乱歩狂言」を開催し、他地域での開催を通じ、都市間交流を推進する。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	情報発信の仕方を工夫する。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	能楽のふるさとづくりに関連する事業である市の総合計画にあり。また、美旗地区の計画にもある。
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映済み	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	地域間交流やマスメディアを活用して、全国に能楽のふるさと名張を発信する。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 事業完了(完了予定含む)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項